（1962年3月7日 第3種郵便物認可）西鉄組合新聞　（毎月1日発行）

Nishitetsu Kumiai Press

2019.9.1 Vol.1689 9月号

西鉄組合新聞

【発　行　所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931　西日本鉄道労働組合
【編集発行者】川瀬 直之
定価 1部 30円 送料共（この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。）
西鉄労組ホームページ（http://nnr-u.org）▶

第10回 中央委員会

■開催日：8月23日（金）
■場　所：福岡市

運動方針（案）・予算（案）決定

8月23日、福岡市にて、第10回中央委員会を開催し、定期大会で審議する「西鉄労組2019年度運動方針（案）並びに予算（案）」など、すべての議案が活発な議論のもと満場一致で決定された。とくに、「従業員食堂の廃止の件」については、会議員から多くの質問や要望が出され、執行部は本案件に取り組む必要性を説明した。

※決議内容の詳細は「かべ新聞第10号」参照（分会掲示板、イントラネットの西鉄労組掲示板に掲載）

質問する畑山中央委員

続報 私鉄総連第86回定期大会

■開催日:7月31日（水）～8月1日（木）　■場所:香川県浜松市

※紙面の都合で、8月号には掲載できなかった内容をお伝えします。

大会TOPICS

「もりやたかし」参議院議員、私たちの代表として国政での尽力を誓う

「もりやたかし」参議院議員挨拶（要旨）

これまでの5年間、捲土重来を掲げ、田野辺中央執行委員長をはじめ、会場の仲間の皆さん、全国の仲間のみなさんに支えられてきた。「もりやたかし」を支えてくださった全ての皆さんに、心から感謝申し上げる。おかげさまで、胸にバッジをつけることができた。これからは、働く者の代表として、そして交通運輸の代表として、しっかりと頑張っていく。今後ともよろしくお願い申し上げる。

森山特別代議員と宗代議員、運動方針（案）について発言

2019年度運動方針（案）の審議では、30名の代議員・特別代議員が発言し、総連執行部が答弁後、原案どおり決定された。西鉄労組からは、森山特別代議員（アイランドシティ）、宗代議員（国物中央）が質問・要望を述べた。

質疑応答概要

E 政治・政策・制度のたたかいと取り組み

○森山特別代議員

育児休暇、介護休暇などは働くものが共に取り得る休暇だと社会的認識を広め、家事・育児などへの共同参画をより一層促す取り組みが必要だと考える。男性の育児休業取得促進等に取り組む企業に支給する「両立支援等助成金」について周知を進めていただきたい。また、女性組合員、女性役員を育成していくことが組織強化に繋がると考える。私鉄総連として、どう捉えているのか、伺いたい。

森山特別代議員

●総連執行部

両立支援の助成金については、2019年に拡充されており、まだ周知されていない。私鉄総連としては、育児休業制度、介護休業制度を含め、要請行動のなかで新たな支援の創設、拡充を要請している。これと同時に企業も理解し、就業規則に盛り込んでいくなどしなければ、従業員が利用できない。労働組合として、この内容を就業規則や労働協約に盛り込むよう企業に働きかけていく。この他に、女性のための取り組みをした企業に対し支援金を支給するという制度もある。それらの活用方法についても周知をはかることが重要である。そうすることによって、育児、介護での退職者を防いでいくことに繋がると考える。

F 産別運動の前進と組織強化・拡大に向けて

○宗代議員

関連事業に関する政策が一切書かれていないが、「もりやたかし」参議院議員の得票には、私たち関連事業の組合員や家族の票も含まれている。私たちの想いも重く受け止めてほしい。関連事業の組合員の想いもくみ取っていただいたうえで、政策活動を進めていただきたい。

宗代議員

●総連執行部

関連事業の対策・政策要望などに関しては、実態把握をするためアンケートをおこなった。結果を踏まえて、交運労協や航空連合などと連携をはかり、組織拡大推進委員会で議論をしながら、進めていく。

総連大会に参加して

「もりやたかし」氏の挨拶に胸が熱くなる

吉塚分会
岩松 文夫

初めての総連大会でしたが、会場に全国の私鉄の仲間が結集しているのを目の当たりにして、私鉄総連の組織の大きさを実感しました。来賓の挨拶の中で、辻元議員が、「もりやたかしさんが当選して、私は本当に嬉しいです！」とすごく重みのある声でおっしゃったのが印象的でした。また、「もりやたかし」参議院議員の挨拶を聴いて、感動で胸が熱くなり、涙が流れそうになりました。これまで応援してきて良かったと思うとともに、これからも応援していこうと強く思いました。

「もりやたかし」氏当選を受け、記念すべき大会に

柳川乗務分会
岡本 隆宏

全国各地から私鉄組合員が集結した「私鉄総連第86回定期大会」には、「もりやたかし」参議院議員が駆けつけ、万歳三唱で当選を祝い、盛大な拍手で会場が一体となり、組織内候補を国政に送る悲願達成を実感しました。また、運動方針の審議では、働き方、要員不足、私鉄組合員の抱える様々な問題について、活発な質疑応答がおこなわれました。全国の仲間たちの声を国政に届ける組織内議員の誕生で、交通政策実現、安心して暮らせる社会の実現に向けて、大きな一歩となる記念の大会になりました。

関連事業で働く仲間の想いも政策活動に

国物中央分会
宗 洋和

今回が初参加でしたが、約1000人近くの私鉄関係者が集まっているのを見て、改めて私鉄総連の団結力の強さを実感しました。質疑応答では、総連執行部に対し「もりやたかし」組織内候補当選に繋がった票の中には私たち関連事業の票も含まれていること、関連事業で働く方々の想いも受け止めて政策活動に取り組んでいただきたい旨を、要望として発言しました。今後、私鉄総連が掲げる「一人でも泣いているものがいないように」という言葉通り、「一人でも笑顔が増える」私鉄総連であってほしいと強く願います。

私鉄総連「第5回中央委員会」

総連「19秋闘方針」決定、産業別統一要求は3項目

総連大会の前日となる7月30日、総連「第5回中央委員会」が開催され、総連「2019年秋季年末闘争方針」が決定された。方針によると、要求書提出は10月17日、産業別統一要求としては、①勤務間インターバル制度の導入に向けた協議機関の設置、②非正規雇用労働者の正規雇用化、③定年延長の実施、の3項目が掲げられ、地連統一要求、単組独自要求とあわせて取り組むこととなった。

参加報告 連合「平和行動in長崎」

■開催日：8月8日（木）・9日（金）　■場　所：長崎県長崎市

諦めず、無関心にならず、「平和の文化」を育てる決意新たに

8月8日・9日、連合主催の長崎での平和学習に、家族会から、椛島さん（柳川乗務分会）と2人で参加させていただきました。1日目の「連合2019平和ナガサキ集会」には、3370名が集まり、「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で核兵器廃絶と恒久平和を実現しよう」というテーマのもと、今と未来を守るために、何があったかをもう一度知るとともに、何をすればいいのかをしっかり考え行動し、長崎を最後の被爆地にしなければいけないと改めて感じる時間になりました。後半は、2020年核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議に向けたシンポジウムがおこなわれ、被爆者の訴えとして、奥村アヤ子さんの話を聞きました。両親・兄弟を失い、一人生き残ったアヤ子さんは、46年間原爆の話ができなかったそうです。語りかけるように始まった話は、涙なしで聞くことができませんでした。

2日目は、長崎原爆資料館、爆心地公園を見学後、「被爆者74周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参列しました。田戸市長の長崎平和宣言の中で、大やけどを負った女性がつづった詩が読まれ、「人は忘れやすく弱いものだから、過ちを繰り返す。だけど…このことは忘れてはならない。このことだけは繰り返してはならない。どんなことがあっても。」という言葉が胸に響きました。

私たち一人ひとりにできることは、諦めずにそして無関心にならずに、地道に「平和の文化」を育てることだと改めて思う2日間になりました。

【自動車部門家族会（柏原分会）山野明美】

第4回ユニオンスクール

■開催日：8月23日(金) ■場　所：福岡市

ろうきんの社会貢献活動と交通事故時の対応を学ぶ

8月23日、福岡市にて、「第4回ユニオンスクール」を開催し、中央委員と特別中央委員、約50名が参加。今回は、第3回福祉活動推進セミナーとして、九州ろうきん、こくみん共済coopから講演を受けた。

奨学金返済は、ろうきんで借換を！

第1講座では、「九州ろうきんの社会貢献活動」というテーマで、本店営業部の山口健一部長が講演。九州ろうきんは、児童養護施設への図書寄贈、ピンクリボン運動への支援、NPO法人への助成など、様々な社会貢献活動をおこなっており、私たちの預けたお金が「血の通った温かいお金」として、困っている方々のために役立てられていることを学んだ。なかでも、奨学金問題への取り組みとして作られた奨学金借換専用の教育ローン「つなぐ」は、年利1・0％（保証料込）の低金利となっており、山口部長は、「奨学金の返済負担に苦しむ組合員の可処分所得向上に大きく貢献している」と話した。

山口部長（第1講座）

自賠責も任意共済も、こくみん共済coopが安心！

続く、第2講座では、「事故発生から解決までの流れ」というテーマで、損害共済金部福岡損調SCの永家祐治係長、加藤泰三係長が講演。自動車事故に遭遇した場合に必要なことや、事故発生時の過失割合の考え方、自賠責保険と任意保険の関係などについて学習した。永家係長は、「任意のマイカー共済に加えて、自賠責共済もこくみん共済coopにすることで、より迅速・適切な処理をおこなえるので安心」と加入のメリットを説明した。

左から永家係長、加藤係長（第2講座）

■ 交通事故を起こした時の注意点

1. 相手方の情報を確認（住所・氏名・連絡先）
2. 事故現場に呼んでもいないレッカー業者には依頼しない
3. 保険会社への連絡（過失が無い時も報告）
4. 事故現場で示談交渉はしない
5. 被害者に対する早期のお見舞い

参加報告 中国沙漠植林ボランティア「第24次九州田主丸隊」

■開催日：8月17日(土)～23日(金)
■場　所：中国(モンゴル自治区)クブチ沙漠

第24次九州田主丸隊の一員として、8月17日～23日の1週間、中国内モンゴル自治区クブチ沙漠で、植林ボランティアに参加させていただきました。

17日に福岡空港で出発式をおこない、大人7名、小中高生12名の総勢19名で中国に向かいました。途中、大連を経由し北京へ到着。北京からは現地のガイドの方と合流し、翌日、万里の長城や天安門広場などの史跡を見学しました。

その後、寝台列車やバスに乗って、内モンゴルの恩格貝（オンカクバイ）へ移動。現地に向かい、雨の中で沙漠を視察。「沙漠でも雨が降るんだな」というのが、沙漠に着いて最初の印象でした。翌日は、晴天の中で植林活動をおこない、現地の学生12名との交流や地元の方の民家訪問などを交えながら、2日間で555本のポプラの樹を植えることができました。日本に1番近い沙漠で、日本に1番影響のある沙漠でもあるクブチ沙漠を植林することで、環境問題の改善に繋げられると言われていたことがとても心に残りました。

今、世界では地球温暖化が大変問題になっています。温暖化を少しでも抑えるためにも、こうしたボランティア活動は大変意義深いことだと思うし、その活動に私自身も参加できたことを嬉しく思います。砂漠緑化活動を始めた遠山先生から「やればできる、やらねばできない」という言葉を聞き、これから先、私自身も色々なことに挑戦していきたいと思いました。今後、ボランティア活動の必要性を職場の仲間や、家族、友人などにも知ってもらえるようにこの経験を伝えていき、西鉄労組だけでなく会社からも一つの隊を作って、植林ボランティア活動ができるようになることを期待しています。7日間、色々な経験をさせていただき、ありがとうございました。

【壱岐分会　小宮直樹】

県交運労協「拡大政策委員会」

■開催日：8月5日(月) ■場　所：福岡市博多区

交通運輸産業の視点で「働き方改革」のポイントを学習

8月5日、福岡市博多区にて、福岡県交運労協「拡大政策委員会（政策セミナー）」が開催され、交通運輸産業に関する県内の労働組合役員や自治体議員、約40名が出席。交通運輸政策に関する2講座を受講するとともに、2018年度「政策・制度要求」の回答と評価について、意見交換をおこなった。西鉄労組からは、古賀委員長、古賀書記長、渡辺鉄道対策部長が出席した。

第1講座では、「地域公共交通の活性化について」というテーマで、九州運輸局交通企画課の井料課長補佐が講演。地域公共交通の現状と課題や、県内における自治体や企業の取り組み状況などを解説した。続く第2講座では、「交通運輸産業における働き方改革関連法のポイントについて」というテーマで、熊本大学大学院の中内哲教授が講演。長澤運輸訴訟やハマキョウレックス訴訟など具体的な事例を取り上げながら、交通運輸産業に関わる「働き方改革」のポイントについて解説した。

西鉄労組 9月の本部スケジュール

6日(金)：事務局会議
9日(月)：執行委員会
11日(水)：中央委員会
27日(金)：第154回定期大会
（於：西鉄グランドホテル）

分会 トピックス

関東地区からも声を上げていく 国物中央分会

私たち国際物流中央分会は、組合本部（福岡）から離れていることもあり、なかなか組合活動が見えてこなかったという実態があります。今後は、家族会の関東開催など、組合活動というものを実際に体験できる機会を与えていただけるので、これを機に「組合活動とは？」というものを今一度、組合員に理解してもらい、関東地区からも声を上げていけるよう分会内で話をしています。また、今後も、組合員にとってより働きやすい環境づくりをめざし行動していくことも確認しました。

【分会長　宗洋和】

プレシャス・ファミリーデーで家族団らん 本社事務分会

本社事務分会の組合員が勤務している本社ビルにて、8月7日（金）、「プレシャス・ファミリーデー」として、従業員の子どもがお父さん・お母さんの職場を訪れる"子ども参観日"が実施されました。事務分会の各職場にもお子さんが訪れ、職場の雰囲気が明るくなったとともに、普段見ることのできないお父さん・お母さんとしての二面を見ることができました。今後も組合員同士交流を深めていき、より良い職場環境の構築を心がけていきたいと思います。

【教宣部長　堀之内尚輝】

分会学習会を開催し約30名が参加 筑紫乗務分会

筑紫乗務分会では、7月2日（火）、分会学習会を開催しました。服務規律、SNS、給料明細の見方など、この学習会で学んだことを今後の仕事や組合活動に生かして欲しいと思います。また、教える分会役員も勉強になる部分があり、今後の活動に活かしていきたいと思います。学習会には約30名の組合員が参加し、新入組合員とのコミュニケーションも図ることもでき、非常に有意義な学習会となりなりました。

【教宣部長　赤崎智哉】